

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	自主防災活動支援事業(東区)				シート番号	213-008
担当部署名	東区役所	局	-	部	自治推進	課 評価責任者(課長名) 小川

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 10 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市自主防災活動助成金交付要綱			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	災害による被害を最小限にするためには、地域住民自らが、平常時からの防災活動に加えて、災害発生時には、災害対応の初期の段階で適切な減災活動を行うことが非常に重要なことから、地域における自主防災組織の設立とその活動支援事業が必要となったため。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	各自主防災組織とその活動				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	各自主防災組織が自主性を持って機能的に活動できる組織づくりを支援するとともに、防災に関する知識や経験を持った「活動できる人材と人員」を育成・確保することで、地域防災力の向上を図り、平常時はもとより、災害時においても地域の力において、迅速かつ適切な初期消火、救出・救助活動等を行い、被害を最小限に食い止め、一刻も早く復旧することを目指す。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	自主防災組織の更なる活動の活性化と地域防災力の向上を促進させるため、各区や関係機関と連携し、各組織の活動状況や習熟度に応じた防災知識の普及・啓発、防災訓練の実施、出前講座等を通じ地域の実情に即した的確な育成・支援を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
10	直接実施以外の主な支出先	登美丘東校区自主防災会、日置荘校区自主防災会、野田校区自主防災会					

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	150	150	100	100	100	100
主な事業費内訳	自主防災活動助成金	千円	150	150	100	100	100	100
		千円						
		千円						
		千円						
	財源内訳	千円						
	国・府支出金	千円						
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円						
	市債	千円						
	その他()	千円						
12	人件費 (b)	千円	8,320	8,320	8,180	8,180	8,280	8,280
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	8,470	8,470	8,280	8,280	8,380	8,420

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	自主防災活動支援事業(東区)	シート番号	213-008
-------	----------------	-------	---------

≪IV. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績						
14		自主防災組織の訓練は2校区において実施され、地域防災力の向上を促進した。防災啓発出前講座は昨年度の2分の1以下の実施数となった。				
指標名【活動指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
15	自主防災訓練実施校区数	校区	目標値	2	2	2
			実績値	3	2	2
			達成率	150%	100%	100%
			評価	大変良い	良い	良い
算出方法・設定根拠など		昨年度の実績数・各団体からの要望をもとに設定				
指標名【活動指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
16	防災啓発出前講座実施数	回	目標値	8	5	8
			実績値	5	10	4
			達成率	63%	200%	50%
			評価	少し悪い	大変良い	悪い
算出方法・設定根拠など		昨年度の実績数・各校区からの要望をもとに設定				

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	自主防災訓練実施校区数	校区	3	2	2
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,270	1,470	2,860
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	1,090,000	735,000	1,430,000
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	防災啓発出前講座実施数	回	5	10	4
	②	上記①にかかる年間経費	千円	5,200	6,810	5,520
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	1,040,000	681,000	1,380,000
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		南海トラフ巨大地震の発生が危惧される中、地震等の広域的な災害に対する地域住民の危機管理意識が高く、各自主防災組織において自主防災訓練及び防災啓発出前講座の実施により積極的に活動していただくことができ、地域防災力の向上と災害に強いまちづくりに繋がった。

- 【分析のチェックポイント】**

 - 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	自主防災活動支援事業(東区)	シート番号	213-008
-------	----------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 → 確認

コロナ禍を踏まえた点検(必要性・有効性・効率性)	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 自主防災組織などが実施する「共助」の活動は、本市全体の災害対応力を強化するために非常に重要であり、自主防災組織の活動を支援する本事業は廃止できない。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 大規模災害時に「共助」による地域防災活動が機能しない恐れがある。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 南海トラフ巨大地震の発生が危惧される中、災害時において、迅速かつ適切な初期消火、救出・救助活動等を行い、被害を最小限に食い止め、一刻も早く復旧できる地域防災力の向上が重要となり、今後も活動を支援していく必要があるため。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 市民の安全面を考慮し、十分な新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで防災訓練、出前講座等を実施する必要がある。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> その他(新しい生活様式に対応)	理由・説明 新型コロナウイルスに対応した取組も実施できるよう制度を弾力的に改善していく。	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見 自主防災組織などが実施する「共助」の活動は、本市全体の災害対応力を強化するために非常に重要であり、自主防災組織の活動支援は今後も継続して実施する。また今後新型コロナウイルス感染症と共存していくうえで、避難所での3密対策等を踏まえた防災訓練、出前講座等の実施方法を改善していく必要がある。			